

口腔がんは、 予防と早期発見が とっても重要です。

初期の口腔がんは **ほぼ100%に近い治癒率**が得られ、
早期の口腔がんでも5年生存率90%以上です。
しかし、進行がんになると5年生存率は50%程度にとどまり、
治療後の審美障害、機能障害により
著しいQOLの低下をもたらします。
口腔がんは予防や早期発見がとても大切です。

ならないようにまず**予防!**
万が一がんになってしまっても
早く治療をすれば元通りの
生活が送れます



まずは予防しましょう

- たばこは吸わないようにする。
- お酒を飲み過ぎないようにする。
- しっかり歯を磨き清潔に。
- 虫歯を放置せず治療する。
- 入れ歯はちゃんと合うものを使う。

他の病気の予防にも
つながります。



Let'sセルフチェック!

- 腫れ物はありませんか?
- えぐれているものはありますか?
- 赤くなっていませんか?
- 白くなっていませんか?
- 出血をくりかえしていませんか?

2週間たっても治らない
場合はすぐに受診を!



心配に思ったら、
すぐ医師にご相談ください。

口腔癌は直接視診することで早期発見が可能です。しかし癌の診察に慣れている専門医でも、正確な判断が困難な場合も少なくありません。白板症や口腔扁平苔癬などがん境界病変については、的確・適切な治療を行っても治癒困難であり、長期にわたって慎重な観察が必要となります。観察する目的のひとつに、もしも悪性転化した場合でも、初期癌として早期発見、早期治療が可能となることがあげられます。



口腔がん

かも。

2週間たっても治らない口内炎、

早期治療で
治る病気です。

初期の口腔がんを見つけ
早期に治療を行えたなら、
ほとんどの口腔がんが
治ります。



口腔外科指導医のいる病院

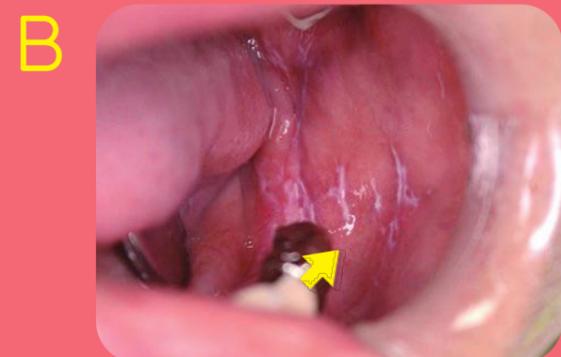
碧南市民病院 歯科口腔外科

Hekinan Municipal Hospital - Dentistry & Oral Surgery

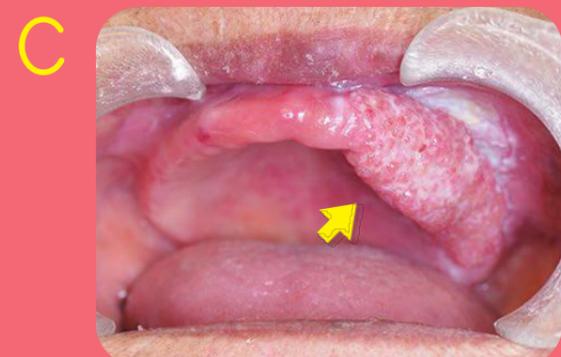
次の口内炎のうち、「口腔がん」はどれでしょう？



色の異なる部分がある



口内炎がなかなか治らない



ブツブツした腫れがある

A 答えは「全て」

ただの口内炎と思わず
口腔がんを疑ってみましょう。

！ 口腔がんを疑う病気と口腔がん

口内炎

円形の白色潰瘍。通常は何もしなくても**2週間で治癒**します。しかし再発を繰り返す場合や難治では、口腔外科受診が必要です。



前癌状態：口腔扁平苔癬

線状、網状の白色病変や発赤、びらん*が認められます。**口内炎と間違われやすい病気**です。口腔用軟膏やうがい薬による緩和治療を行います。あわせて口腔ケアの指導も行います。**非常に治りにくく、憎悪を繰り返しやすい**のが特徴で(癌化率2~3%)、定期的な観察がとても重要となります。

*一層粘膜がめくれた状態



口腔カンジダ症

ぬぐうと拭き取ることのできる白色の病変で、栄養や睡眠不足、体調の優れないときになりやすい病気です。**およそ2週間で改善**しますが、白板症との鑑別が必要です。



前癌病変：口腔白板症

ぬぐっても拭き取ることのできない白色の病変です。痛みを伴わないことが多く、**自覚症状が乏しい**のが特徴です。**将来そこから癌が高頻度に発生**(癌化率3.1~16.3%)することが特徴で、組織を取って調べたり、定期的な観察がとても重要となります。当科では、がんになりやすくする指導や癌転化の早期診断に努め、適切な治療を提供しています。



口腔がん (舌癌、歯肉癌など)

口腔がんは**直接肉眼で観察**できます。また**触って硬い感じ**のする場合や**出血しやすい**ものはがんを疑って口腔外科を受診することが大切です。がんの早期発見や早期治療につなげるためにも「おかしい?」と思った時の早期受診が重要です。口腔がんでは、手術や抗がん剤治療、また放射線治療がおもな治療法となります。

